資料２

芽室公園 Park-PFI 事業の進ちょく状況

(1)概算事業費

基本設計が完了(参考資料1－1)しており、現在は実施設計に進んでいるが、基本設計段階において、概算事業費を算出した。

建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事において、令和7年12月時点の事業費想定よりも約3億円増となったが、他の工事費の部分の削減や、VE 調整(※)に伴い、基本設計時点において、1.6 億円の増額まで削減している。

これに伴い、特定公園施設(屋内遊戯施設・駐車場)の建設に伴う町の実質的な負担金は、約 4,000 万円の増となる見込みである。

概算事業費の比較表(税抜・千円)

	公募対象公園施設			特定公園施設			合算		
	提案時	基本設計	差額	提案時	基本設計	差額	提案時	基本設計	差額
建築主体工事	443,640	530,290	86,650	524,810	537,630	12,820	968,450	1,067,920	99,470
電気設備工事	80,290	144,920	64,630	95,500	123,380	27,880	175,790	268,300	92,510
機械設備工事	77,980	86,420	8,440	91,800	184,360	92,560	169,780	270,780	101,000
外構工事	21,200	0	-21,200	265,850	253,840	-12,010	287,050	253,840	-33,210
経費	136,890	139,670	2,780	136,815	165,390	26,775	273,705	303,260	29,555
工事費 計	760,000	901,300	141,300	1,114,775	1,262,800	148,025	1,874,775	2,164,100	289,325
設計費、その他費用	40,000	49,000	9,000	130,780	140,780	10,000	170,780	189,780	19,000
VE 案(削減額)	—	-90,000	-90,000	—	-58,025	-58,025	—	-148,025	-148,025
合計	800,000	860,300	60,300	1,245,555	1,345,555	100,000	2,045,555	2,205,855	160,300
町負担金(0.9)	—	—	—	1,120,999	1,210,999	90,000	—	—	—
町実質負担金	73,440 (年額)	83,640 (年額)	10,200 (年額)	500,000	540,000	40,000	—	—	—

※VE とは、Value Engineering の略で、建物の品質や機能を落とさずに、コストを削減する手法。

(2)概算事業費増の要因と対応策について

1)増額の要因

①主工事の増

→建築主体工事で約9,900万円、電気設備工事で約9,200 万円、機械設備工事で1億100万円、主工事の合計で約3億円の増となったこと。

②物価上昇

→建設工事費デフレーター(国土交通省のデータ)においては、物価上昇率が令和7年12月時点から令和8年7月時点の期間で 9.57%上昇している。また、令和7年12月時点の数値は、令和7年7月時点の数値と比較して、2.2%減少していることから、業者提案選定時の12月時点の数値は令和7年7月時点よりも事業費が減額となっており、業者提案選定時よりさらに金額が大きくなった要因となっている。(参考資料1－2)

建設工事費デフレーターによる比較表

公募対象公園施設・特定公園施設　合算工事費(税抜き・千円)			
①提案時	②デフレーター 9.57%	③基本設計時	比較(②―③)
2,045,555	2,241,315	2,205,855	- 35,460

2)対応策

①VE 調整の実施(済)

②実施設計を進めながら概算事業費の精査を行い、建設工事費デフレーターを含めた工事着手時点(令和9年4月)の事業費を想定する。

③外構工事(土木工事)部分において、さらに削減できる箇所の検討を進める。

④地域未来交付金等の新たな財源の活用

(3)今後のスケジュール予定

令和8年11月	土の搬入に伴う仮設工事の開始
令和8年12月～令和9年2月	土の搬入
令和9年2月末	実施設計完了
令和9年3月	定例会議(特定公園施設に関わる建設・譲渡契約の契約変更について)
令和9年4月～	建物及び駐車場　工事着工
令和10年3月	竣工
令和10年4月	オープン